

令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト



「うめのり」限定新ラベルをお披露目

株式会社高橋商店と福岡農業高校食品科学科梅研究班は、太宰府の梅を使用した佃煮「うめのり」を共同開発し、販売しています。今回、羽田・福岡空港での販売開始に合わせて、限定新ラベルを2月28日(水)にお披露目しました。平成26年から続くこの産官学連携では多くの製品が生まれています。本市の中学校完全給食初日の献立にも使用した「うめえたれ」など一部の製品を、同社から本市へ寄贈していただきました。



お披露目式の参加者

チョコレートショップで工場見学

有限会社チョコレートショップの工場を福岡農業高校食品科学科梅研究班が2月19日(月)に見学しました。梅研究班は太宰府の梅を使用したシロップなどを同社へ提供し、「梅ショコラ^{みのりしずく}実と華」を共同開発しました。パリやロンドンでも販売され、日本ならではの梅の風味で人気があります。工場見学当日は試食も行いました。同社からは企業版ふるさと納税として本市へ寄附をいただき、「梅」プロジェクトの更なる躍進に活用します。



工場見学する生徒たち

令和の都だざいふ 歌うま選手権を開催

市主催では初のカラオケ大会「令和の都だざいふ～歌うま選手権～」を3月2日(土)、3日(日)に開催しました。本選では、令和の都だざいふ応援大使の高田課長さんが司会を務め、一般の部12人・ペアの部5組が出場し、450人を超える来場者が大きな拍手や声援を送りました。



自慢の歌声を披露した出場者

世界に羽ばたく人材育成 第6回「子ども・学生未来会議」を開催

太宰府東小学校で第6回「子ども・学生未来会議」を2月19日(月)に開催しました。今回は放課後子ども教室に所属する太宰府東小1～3年生の約60人と、太宰府東中1年生の約35人が参加しました。

地域の皆さんの協力のもと、日ごろからお世話になっている人へ感謝の気持ちを伝えるフラワーアレンジを作成しながら、次世代を担う子どもたちが、自分の夢や思いを直接楠田市長と語り合いました。



交流を深めながら語り合う様子

まちのトピックス

全世代居場所と出番構想 親子で遊ぼう！eスポーツ体験会開催

本市いきいき情報センター全世代交流フリースペースで2月17日(土)、eスポーツ体験会が開催されました。今回で3回目となる体験会では、親子のコミュニケーションを深めることを目的に、小学生と保護者が参加しました。九州情報大学eスポーツ同好会の学生と太宰府高校のボランティアの生徒がサポートしながら、参加者はeスポーツを楽しみました。

今後もイベントなどを通して、全世代交流の推進とフリースペースの有効活用に取り組んでいきます。



eスポーツに夢中になる参加者

私のだざいふ

太宰府キャンパスネットワーク会議
学生連絡会 令和5年度会長
日本経済大学経営学科4年

ひだか しん
日高 慎さん



「太宰府天満宮があるところ」

3年前地元宮崎県から大学に入学した際は、太宰府市に対する印象はその程度しかありませんでした。しかし、太宰府キャンパスネットワーク会議学生連絡会(以下:学生連絡会)に所属し、5大学の学生や地域の人たちと交流するようになり、「温かい町」だと感じるようになりました。

令和5年度、自ら立候補し学生連絡会の会長を務め、大学生と地域社会をつなぐ企画や活動に関わりました。9月には、日本経済大学の竹川克幸先生や学生有志と一緒に「だざいふ遊学プロジェクト」を初開催し、太宰府天満宮境内・参道の散策や名物の梅ヶ枝餅焼き体験など、太宰府の歴史や文化を楽しみました。11月には太宰府市内の高校生も交えて学生と市長との意見交換会を行い、太宰府市の良いところ、改善点を話し合いました。そして12月、五条振興会の「五条マルシェ」とも共催で、キャンパスフェスタ2023を開催し、多くの団体やお客さんにも参加してもらいました。これからも、「心温まる町だざいふ」を学生の若い力と情熱で盛り上げていきたいです。

Contents

目次

2024年4月号

特集

君にエール、送りたい 2~5

市民課のサービス再発見 8~9

令和6年度施政方針 10~18

連載

..... 19~23

なんでも情報コーナー 24~33

太宰府の文化財 42

市政ニュース

災害支援 石川県穴水町に職員を派遣

令和6年能登半島地震の被害が現在も続く石川県穴水町に2月18日(日)~3月5日(火)の期間、本市の職員1人を派遣しました。現地では、全国から集まった派遣職員と協力して家屋の被害認定調査などに従事しました。今回の派遣は、福岡県から福岡県市長会へ要請を受け、本市が副会長市として率先して応じたもので、今後も要請に基づき職員を派遣します。

2月16日(金)に行った出発式で、楠田市長は「九州と異なり寒さも厳しいなか、くれぐれも心身に気をつけて、現地の人に寄り添い市を代表して役割を果たしてきてください」と派遣職員を激励しました。



出発式の様子

団体からの寄附 企業版ふるさと納税として寄附をいただきました

デジタルマーケティングを活用した地域密着型事業を展開する合同会社Heuteから「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト」に、本市に関連会社の物流拠点を置くコーユーレンティア株式会社から「令和の都羽ばたく太宰府!推進プロジェクト」に寄附をいただきました。コーユーレンティア株式会社からは本市が本制度を始めた令和3年度から継続して寄附を受けています。



合同会社Heute



コーユーレンティア株式会社